

## 初 段

氏名 ( )

1 「基本の大切さ」について述べなさい。

2 「基本打突や技の練習」で気をつけることを述べなさい。

(1) ( ) で、( ) を充実させ、互いの  
( ) から打突する。

(2) 適切な ( ) をとって、確実に  
( ) の ( ) となるようにする。

(3) はじめは「( )、( )、  
( )」を主眼とし、習熟するにしたがって  
「( )、( )、( )」  
打突できるようにする。

3 「試合に臨む心構え」について述べなさい。

## 二 段

氏名 ( )

1 剣道で「礼儀を大切にすること」について述べなさい。

剣道を修練するうえで、互いに心を練り、身体を鍛え、技を磨くためのよき ( ) として、内には ( ) を尊重して常に感謝の念を持ち、外には ( ) で礼儀を正しくすることが、剣道にとって極めて大切なことである。

( ) や ( ) の礼法を立派に行うことはもちろんのこと、終始、( )、( )、( ) といった礼の本体を離れることなく、素晴らしい剣道を創造していくうえで、礼は大切な要素である。

2 「切り返して気をつけること」を4項目書きなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

3 「基本打突や技の練習で注意すること」を4項目書きなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

### 三 段

氏名 ( )

- 1 「稽古で心がけなければならないこと」とはどのようなことか述べなさい。
- (1) ( )、準備運動、整理運動をはじめとした安全面に留意する。
  - (2) ( ) や研究心をもって取り組む。
  - (3) ( ) を重んじる。
  - (4) 立合いの「( )」を大事にして、一本一本をおろそかにしないように、常に( )で、精魂を込めて稽古をする。
  - (5) ( ) に忠実に稽古をする。
  - (6) ( ) を積極的に使って稽古をする。
  - (7) 稽古後は反省し、( ) ・ ( ) を怠らない。

2 「打突の好機」を6項目書きなさい。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

3 「互角稽古で注意すること」を3項目書きなさい。

- (1)
- (2)
- (3)

## 四 段

氏名 ( )

1 「剣道が上達するための要件」を述べなさい。

2 「目付け」について説明し、目付の名称を4項目書きなさい。

(1) (2)

(3) (4)

3 「懸待一致」について説明しなさい。

五 段

氏名 ( )

1 「攻め・崩し」について説明しなさい。

2 「審判員の心得」について述べなさい。